

令和6年11月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和6年11月25日(月) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 林 靖 直	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	斎 藤 純 郎	委 員	小 林 恵 子
委 員	上 田 佳 澄	委 員	渡 邊 愛

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	岡 部 清 美	学校教育課長	長 和 俊
社会教育課長	石 黒 昭 彦		

5 本委員会書記

学 校 教 育 課 藤 野 聡 他 2 名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第11号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案

議案第46号 燕市地域コーディネーターの選任について

8 閉 会

会議録 別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後 1 時 30 分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和 6 年 10 月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈小林教育長が以下のとおり報告〉

1) はじめに

- 校長面談を実施した。実態や課題を的確にとらえ、よりよい学校づくりに尽力する校長に敬意を表し、よきパートナーとしての支援を続けていきたい。

2) 10、11 月（10 月第 3 週～11 月第 2 週）の行事から

① 分水北小学校創立 40 周年記念式典及び学習発表会【10 月 19 日（土）】

校区に良寛ゆかりの地である国上山があり、輝かしい歴史を刻みながら多くの卒業生を送り出してきた分水北小。式典に臨席し、学習発表会を参観した。

② 燕市交通安全ポスターコンクール表彰式（吉田公民館）【10 月 21 日（月）】

市長賞、燕警察署長賞、教育長賞、交通安全協会長賞、優秀賞、計 14 点と優秀学校賞 1 校の表彰を行った。力作ぞろいだった。

③ 広報つばめ「子ども記者」終了式【10 月 23 日（水）】

広報秘書課主催の「子ども記者」終了式に参加した。取材や編集を終え広報誌を完成させた充実感、満足感で笑顔いっぱいの 18 名の子どもたちだった。

④ 新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（新潟市）【10 月 25 日（金）】

教職員の増員や加配、スクールサポートスタッフ等の配置にかかわる財政支援等、国や県への要望を確認したり、情報交換したりした。

⑤ 県立燕中等教育学校創立 20 周年記念式典【10 月 26 日（土）】

「Be Glocal!」を掲げ、「地域に立脚しつつ地球的視野で活躍する人材の育成」をめざして教育活動を進め、これまでに 989 名の卒業生を送り出されている。

⑥ 燕市美術展覧会表彰式（吉田産業会館）【10月26日（土）】

日本画、洋画、工芸・彫刻、書道、写真の各部門で市展賞などを選出し、これら入賞作品と燕美術協会員や審査員の作品を加え、計163点を展示した。

⑦ 第27回MOA美術館つばめ児童作品展（吉田産業会館）【10月26日（土）】

市長賞、教育長賞、審査員特別賞等、34点の入賞が決まった。子どもたちの豊かな個性や感性が光る作品の数々に、元気をいただいた。

⑧ 第4回未来いきいき地域クラブ検討委員会（中央公民館）【10月31日（木）】

Ⅱ期の活動状況の報告について意見交換し、Ⅲ期の活動について検討した。平日の活動や文化活動についても、活発な意見が交わされた。

⑨ 燕市読解力育成プロジェクト全体研修会（分水中学校）【11月7日（木）】

読解力向上の研究で著名な新井紀子先生から、直接ご講義・ご指導いただいた。いただいた具体的で的確なご指摘、ご助言を学校現場で活かしていきたい。

3) 結びに

- 教員の働き方改革・処遇改善に関して、法改正を視野に入れることも含めて様々な情報が行き交っている。教育を行うのは「人」。子どもたちに必要な教育が適切に行われ、学校教育の質が低下しないよう願っている。

(3) 寄附報告

4件の寄附について

〈No. 1について石黒社会教育課長が説明〉

〈No. 2、3、4について長学校教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

No. 2のバレーボール練習マシンはどのようなものか。

○学校教育課長（長 和俊）

ボールを打ち出す機械である。左右の首振りや角度の調整ができ、希望するコースへボールを簡単に放出することができる。

4 専決処分の報告について

報告第11号 専決処分の報告について

2件の共催・後援申請について

〈No. 1、2について石黒社会教育課長が説明〉

5 議 案

議案第46号 燕市地域コーディネーターの選任について 〈長学校教育課長が説明〉

○委員（上田 佳澄）

地域コーディネーターは校長先生の推薦があつて教育委員会で選任されると思うが、校長先生の方から、お願いできそうな方はいないか、と聞かれることがある。一般人からの紹介で校長先生が推薦するものなのか。

○学校教育課長（長 和俊）

最終的には校長の推薦になるが、その前段階として地域の方にご助言をいただくこともある。

○教育長（小林 靖直）

校長は誰にでも聞いているわけではなく、地域のことを良く知り、学校に関わってくださっている方にお聞きしている。適任の方がいられたらぜひご助言いただきたい。

審議の結果、全員異議なく議案第46号は原案通り議決された。

○教育長（小林 靖直）

全体をとおして、質問や意見はないか。

本会議の前に、委員の皆さまには西部学校給食センターを視察していただき、給食を試食していただいた。何か感想等があれば伺いたい。

○委員（斎藤 純郎）

とてもおいしくいただいた。本日のメニューは和食だったので、子どもたちが給食をとおして日本の食に関心を持ってくれるのではないかと思う。また、給食費について、市から1食あたり50円が補助されていると聞いた。この物価高の中でも給食センターでは食材費の範囲の中で工夫を重ねて調理してもらっていることがわかった。

○委員（小林 恵子）

今日試食させていただいたような手の込んだ豆を使った料理は家庭ではあまり作る機会がないと思う。手間のかかる食材を給食の中に積極的に取り入れて、子どもたちに食べ物のおいしさを伝えたり、苦手なものを食べられるよう工夫をして給食を提供していただいております。

○委員（中野 信男）

給食には様々な目的があるが、そのうちの一つとして「おいしい」ということがとても大事である。燕市の給食は色々と工夫がされていて、給食の大事な目的を果たしてい

ただいていると感じる。

○委員（渡邊 愛）

給食を作る一連の流れを教えていただき、メイドイン燕の道具や食器が使われていたり、食材も燕市のものを使っていたりと、愛のかたまりのような給食を食べているので子どもたちが元気でいられるのだと感じた。

○委員（上田 佳澄）

初めは少し薄味に感じたが、食べていくうちにこのくらいが一番良いということがよく分かった。普段の食事でも減塩を心がけようと思う。

また、谷川 俊太郎さんの『しんでくれた』という絵本があるが、この本にあるように命をいただくことについて食育ができると、給食の大事さがより子どもたちに伝わるのではないかと思う。

○教育長（小林 靖直）

栄養面だけでなく、心も育てていけるのが食育だと思う。「いただきます」の意味が子どもたちにきちんと伝わるような食育を行っていきたい。委員の皆さまの温かい言葉を現場に伝えたいと思う。

6 閉 会 午後 1 時 54 分

燕市教育委員会会議規則(平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号) 第 17 条第 2 項の規定により会議録に署名する。

令和 6 年 12 月 26 日

教 育 長 小林靖直

教 育 委 員 甲野信男

教 育 委 員 斎藤純郎

教 育 委 員 小林恵子

教 育 委 員 上田佳澄

教 育 委 員 渡邊 愛

会議録作成職員 斎藤 千華